

賃上げカボチャ四つ分

春闘を語る、座談会

語り合つた人々

の二つ（この要録を、さて職や家庭に参照
けとつてゐる）を、まいつけ 欄某部は
何はともあれ直に意見を書くため、去る日一
春闘を語る座談会を行なりました。次の人々
が出席、語りを合しました。

松岡たつ子さん 45才の主婦、富澤敏仕
士上松岡春喜さんの妻、子ども三人、長男就職
市川の某大層良御所に勤務。

池田すみさん 47才の主婦、港野操操車
手池田住雄さんの妻、子ども五人、下二人中
学在学、他は結婚・就職、失労労働もすでに長
い。

立山義人さん 30才、四山敏仕嬢夫、子
ども一人。

野田広善さん 43才、富澤敏仕嬢夫、子
ども二人、現在在学・工事待命中。

前川哲也さん 30才、三川敏仕主、子
ども一人。

平川勝俊さん 39才、本所運転手、子ども
も一人。

なお会社は数回欠長でしたが、組合員・主婦
の皆さん、大いに語り合つて見てください。

カボチャ、四個分の賃上げ

――炭府の審問で、第二組合
全炭鉱の先立結を「応酬」して
て闘った結果、第三回会審で懲
て受給した。第二組合は、
てみなさんとは今年の闘いを争
け取ってられるか。

前川 何でそんなに大々然
んなか、要領のたまた半分、何
ことだといったかです。かもし
退職金支のための株がいろいろ
用を受ける者ではない、種別等
級の高い者が一部のみに限られ
われわれ外に働く人には関係な
係もなか、退職金という以上、
き労働者のきつたる生活と日銀の
き問題ですよ。

久方ぶりに見た炭労の存在

松岡 秘太は主顧も、一どろふかばつ下さいと、炭券中央に向け、路筋のハガキ書きたのでしたげと。半日はかりストライキをした四九丁の置けを勝ち取らうと喧然に比べ、二日間もストライキをやつて聞へ。秘太ははたつた五十、五十丁かと思ひますと、残念だまりませぬ。秘太のうちのうちに抗外酌は、はいつのこのたからプラにほなるひのす。

池田 うちの主人の饗宴、月々取りで三千元。満額よりときで、せりふ千五百七十七円とですよ。

西の子どもが蘭小・中学、小四の子どもが蘭小・中学、小四の子どもが蘭小・中学と、大變でた。そのころおかしき話ですと、ほとんぱおかしかりで、おかしきそれとひ切れるおかしなかなうひのす。

一錢もなしに
新婚生活へ

立山 私も昔苦労された人です。何しろ、抗戦疎炭夫でつた親父が、けし肺になって昭和三十三年に、五十三で死んでもうですね。

昭和三十三年、その親父が五十二のとき、私は鉾山学校卒業して、親父がしてはいた四山鉾に仕舞工としてはいってわいねえ。だから、一年間はその親父のいっしょに、同じ坑内で働くことが出来ました。

親父は終戦直後の二十一年に入社しましたねん、もともと坑外でした。ところが私たちが第三

話たにこは、まだあるのさ。資本の手で殺れた親父は昭和十八年の、例の百十三回大闘のとき、いったん三井鉾が合意を切られたはずやうでして、あの闘いは徹夜に勝ったおやうで、親父の首はながったことばうで、その翌十九年にはもうけ肺がでしてしまへ二度と働くことができなうとされたわけですよ。

聞きますともあつたは、いまニコマクもあつたといふことなんや、岩粉に鼻に、息はされんから、つまりよったかいいますから、けし肺になるのもまたまえで

つけようなし家計簿

でも闘う以外に道なし

[illegible]

三人も殺され
た親父兄弟

前川 私も女院に結婚して二年。喪中明けがその記念日です。たい。(みな思惟)は手です。私等の三川鉦の思惟でたつて祝ふ。父も、昭和三十四年(一九五九)に父に

「民衆院にダメダメ、社説見るとかこでげん」と、胸をはるんです。きたです。さ(い)ひとい(こ)に

た親父兄弟

前川 私も女房と結婚して二年。実相し日はその記念日を祝するたい。「ふんな思わけう手で祝福する」三川翁の拙進達した私の親父も、昭和三十三年七月に肺になって死んだんです。ところが私のところでは、親の兄貴の一人が、昭和八年に田舎で起きた坑内ガキ爆発のとき、三川翁の坑内に流れてきたガスを吸って死んでおり、さらに親の弟の一人が、あの巨匠大爆発のとき焼死で死んでいます。あと親父の兄弟の二人が亡くはなっていますが、こうして親たちの兄弟は三井鉱山から三人も殺されてしまったわ

松岡 私も仕立てていますけど、炭業でもないですよ、ご飯屋にはちゃんと店員がたいてくれますよ。子どもの協力があって、共稼ぎはされます。

前川 あの三池闘争の時、一万円生活賃動員で、帯りがよく速くなっております。たとえ、あ夜のこと、子どもだけ家に帰つて見ますと、地を耕つくつこいたシヤガ

松岡 私は呼ばれてきて、この生活をめづらけてみてきたんですよ。それが際びてくる。春闘は、たしか重大な問題投げかけましたよ。さむざむとやりましたよ。会社は、四十八軒は四千四百人、といんだらうの考えたらいりやないですか？

前川 とろろがこまの体制は、これまでもスス入

た親父兄弟

前川 私も女房と結婚して二年。実働日がその記念で祝福したい。「そんな思はず自分で祝するな」三井川の御進達した私の親父も、昭和三十三年といひ師になつて死んだんです。ところが私のところでは、親の兄貴の一人が、昭和八年に田畑で起きた坑内ガソリン爆発のとき、三井川の坑内に流れてきたガスを吸つて死んでおられ、さらに親の弟の一人が、あの三井大爆発のとき肺病で死んでます。あれ親父の兄弟の二人がきてはおりますが、こうして親父たちの兄は、三井川から人間を殺さしてしまったわい。

話したくには、まだあるやうん。資本手で殺された親父は、昭和二十年の例、百三井山の闘ひのとき、いまは三井鉱山から首を出した者やうなつたです。あの頃は最後勝ったおかげで、親の首はつがついたんですが、その翌二十一年にはもうじけ肝が壊してしまひ、二度と働くことができなくなれたのです。聞きませよとのこは「まづいつか岩盤が崩れ、息絶されたい」と言ふやうなつたのです。かう

松岡 私も仕事にでていますけど、残業でもしています、ご飯食はずにちゃんと仕事がたつてくれます。子どもも協力が無いと、共稼ぎはれません。あの二週間の争ひ、一万円生活費が続いてたときのことです。勤め員動で、煙りがよく濃くなつておりましたけど、あんな夜のこと、遠くなく一家に帰つて見ます。子どもたちは、そのころ小さいイモ子や、ただ黙つてたいてた地を耕してつらつたジャガイモを作、

池田 子どももぞ、手本だと思ひます。「やはりおとさんふたむし偉い。」と、ちゃんと見てくれにしますし、また主婦会員の妻、子どもたちもだらふときには「子どもたちが」「ほら、おかしあん触強にうつってやつかい」とは言へてくれるのです。私の妻も子どもたちが五人いますと、頭のように、悲しくてもうけ、

野田 だから「オネンツン明日はやるがでござんた。ペンタンは用意せよ」。《大笑》

前川 とひがここの体制はいえ、これまでスス突入直取突縮が通例だった。だから女房にいっとうきまして「炭が欠けたらどうですか」「明日はやるがでござんた。ペンタンは用意せよ」。《大笑》

野田 だから「オネンツン明日はやるがでござんた。ペンタンは用意せよ」。《大笑》

——とくに第幾組人間の今は自分のお金を切り売すものではない、金をとるものに過ぎない。やつぱり闘

問題にしよ
う賃金体系

——このでございませう、ございませう。前川は留聲機を「おど」で、どんな綺麗な労働条件の下ででも、文句も言はずに抑えつけられてきた炭鉱労働者が、こうしようやく「閉山を恐れる」と、審問への決意を固めたことが、山元代表を介した集団交渉となり、四十、八時間、スライキなど、たぐさその成果がわづかかなものではあったが、第二組合・炭鉱の先行交渉条件をこめて乗こえた回答を、ひたひたスラスト半突入とす。いよいよスラスト半突入とすうと炭鉱中央から、「いよいよ

池田　その第二組

ね。同じ勤者ですん。雇へん。意見をすくと、不承知にたります。

前川 執行部が知る必要が強く、同会と該協会のほかの組合員をこの春闘でストを義務を決定したとき、三池新野村は平和協定であるかといふのストをやらずに、組員一人ひとりから三回ずつカバするにしたのを、管組組合の人なれば三回ずつたがひ、ストをうばか三回うばか」と、批判が強くつたです。

と云ふ、炭労中央のそのど

子どもの苦勞
見ると残念

子どももの苦勞
子ともの苦勞
僱主の以外はなかつたわけであつて、その新籍紙から帰つて見ますと、家には、妻の金もなかつたでござうが、もう二人で、ボーンとなつてしまふ。もう二人で、男は、親のその努力がよは、身にしみて、その自分には、絶えぬ。うちにも家計のやり繰りやがな

たが二人とも小学校です
 車するときなんか子どもたち

此後又々田附
 本有「乃」字、明記を重く、初稿より
 印「乃」字、明記を重く、初稿より
 印「乃」字、明記を重く、初稿より

三池
 (て)

然れども、又炭補償が、スト
 相ひきかえといふ点はどうして
 も納得いかんです。人間のいのち
 のとは、関する問題を取り引き、道
 具に供するやう方。これだけは

九炭婦協と三池
炭労会館にて)

のちに関する問題を取り引きの道
具に供するやり方——これだけは
絶対に改めるべきです。